

安全データシート

1. 製品及び会社情報

会社	日本ジッコウ株式会社		
住所	神戸市西区南別府1-14-6		
担当部門	技術企画部		
電話番号	078-974-2909	FAX番号	078-974-8631
緊急連絡先	担当部門に同じ		
整理番号：	1316-8210	改訂日	2016年 6月 1日
		作成日	

製品名 ジックシールP 主剤
(化学名, 商品名)

2. 危険有害性の要約

GHS分類：	
引火性液体	区分外
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：蒸気）	区分4
急性毒性（吸入：粉塵およびミスト）	区分4
皮膚腐食性／刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分2 A
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1 B
水生環境有害性（急性）	区分2
水生環境有害性（慢性）	区分2

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素：

・絵表示



・注意喚起語 危険

・危険有害性情報

吸入すると有害（気体、蒸気、粉塵、ミスト）
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響により水生生物に毒性

・注意事項（GHS対応表記）

安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。
取扱後は手をよく洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
緊急時を除き、環境への放出を避けること。
保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。

救急措置

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
吸入した場合、災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
気分が悪いときは、医師に連絡すること。

	特別処置が必要。『4. 応急処置』を参照。
	皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受けること。
	皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。
	眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
	汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
	漏出物を回収すること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：	混合物		
化学名：	エポキシ樹脂系プライマー		
成分及び含有量：			
成分名	含有率 (%)	C A S No.	化審法
エポキシ樹脂等	100		
内：ビスフェノールF型エポキシ樹脂（液状）	75～85	9003-36-5	既存

4. 応急措置

目に入った場合：	・ 清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	・ 付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。 ・ かゆみ、炎症が出た場合は、ただちに医師の診断を受ける。
吸入した場合：	・ 空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	・ 多量の水、牛乳又は微温塩水を飲ませて吐かせた後、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：	・ 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。 ・ 保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤：	水 []，二酸化炭素 [○]，泡 [○]，粉末 [○]，乾燥砂 [○] その他 ()
使ってはならない消火剤：	水

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：	・ 保護眼鏡，保護手袋，防毒マスク等を着用して作業する。
環境に対する注意事項：	・ 漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。 ・ 付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。
回収、中和：	・ 少量の場合は紙，布，砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。 ・ 大量の場合、何よりも拡散の防止を図る。できるだけ液体を容器に回収する。回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。 ・ 流出，その他の事故が発生した時は、警察署，消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	・ 火気厳禁。炎，火花，高温体との接触，その他点火源となる恐れのある機械等の使用を禁止する。 ・ 取扱いは換気の良い場所で行ない、状況によって保護眼鏡，保護マスク，保護手袋を使用する。取扱い後は、手洗いを充分に行なう。
保管：	・ 容器を密閉し、冷暗所に保管する。 ・ その他、電気機器は防爆構造とする他、消防法などの法令に定める所に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露濃度基準：

	成分名	管理濃度
設備対策：	蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。	
保護具：	呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。	
	保護眼鏡：	保護眼鏡を着用する。
	保護手袋：	PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
	保護衣：	長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観：	乳白色ペースト状
臭い：	微臭
pH：	データなし
凝固点：	データなし
融点：	データなし
初留点と沸点範囲：	データなし
引火点：	約134℃
蒸発速度：	データなし
引火または爆発範囲の上限/下限：	データなし
揮発性：	わずかにあり
蒸気圧：	データなし
蒸気密度：	空気より重い
密度：	データなし
溶解性：	水に不溶
オクタノール/水分配係数：	データなし
発火点：	データなし
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性：	通常の取扱い条件では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件：	高温、火気、スパーク。
混触危険物質：	アルカリ、酸化剤
危険有害な分解生成物：	知見なし。

11. 有害性情報

刺激性（皮膚，眼）：	・皮膚をわずかに刺激する。繰り返し、長期間の接触は、皮膚炎を起こす可能性がある。また、繰り返し、長期間の接触、又は吸入は人によってアレルギー反応を引き起こす可能性がある。 ・蒸気は呼吸器、眼に刺激性である。繰り返しの接触は結膜炎を起こす。
急性毒性：	

成分名	LD50 (mg/kg)	生物種

12. 環境影響情報

移動性：	製品として知見なし。
廃棄：	漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。
汚染容器・包装：	残余廃棄物と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

国連分類：	9	国連番号：	3082
「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。			
その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。			
容器に漏れのない事確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。			

15. 適用法令

消防法：	危険物第四類第三石油類 危険等級Ⅲ
毒物劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	[表示対象物質] 非該当 [通知対象物質] 非該当 [特化側] 非該当 [有機則] 非該当
P R T R 法：	[第1種指定化学物質] 非該当 [第2種指定化学物質] 非該当

16. その他の情報

この安全データシートは、JIS Z 7253 (2012) に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

- | | |
|--|------------|
| ・ 14102の化学商品 | 化学工業日報社 |
| ・ 化学物質の危険、有害便覧 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 知っておきたい職場の化学物質 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成
手法の研修テキスト（改訂版） | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 製品安全データシートの作成指針 | 日本化学工業協会 |
| ・ エポキシ樹脂・硬化剤正しい取扱いの手引き | エポキシ樹脂技術協会 |
-

安全データシート

1. 製品及び会社情報

会社	日本ジッコウ株式会社		
住所	神戸市西区南別府1-14-6		
担当部門	技術企画部		
電話番号	078-974-2909	FAX番号	078-974-8631
緊急連絡先	担当部門に同じ		
整理番号 :	1316-8220	改訂日	2019年 5月27日
		作成日	

製品名 **ジックシールP 硬化剤**
(化学名, 商品名)

2. 危険有害性の要約

GHS分類:		
引火性液体	区分外	
急性毒性 (経口)	区分4	
急性毒性 (経皮)	区分外	
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分3	
皮膚腐食性/刺激性	区分1A	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分1	
皮膚感作性	区分1	
生殖細胞変異原性	区分外	
発がん性	区分外	
生殖毒性	区分1	
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分3	気道刺激性
水生環境有害性 (急性)	区分2	
水生環境有害性 (慢性)	区分2	

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素:

・絵表示



・注意喚起語 **危険**

・危険有害性情報

- 飲み込むと有害 (経口)
- 吸入すると有害 (気体、蒸気、粉塵、ミスト)
- 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷
- 重篤な眼の損傷
- アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 呼吸器への刺激のおそれ (気道刺激性)
- 水生生物に毒性
- 長期継続的影響により水生生物に毒性

・注意事項 (GHS対応表記)

安全対策

- 使用前に取扱説明書入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
- 粉じん・ミスト・蒸気・スプレーの吸入を避けること。
- 取扱後は手をよく洗うこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 緊急時を除き、環境への放出を避けること。
- 保護手袋・衣類・保護眼鏡を着用すること。

救急措置	<p>飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。</p> <p>飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</p> <p>皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。</p> <p>皮膚や毛にかかった場合は、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。</p> <p>吸入した場合、災者を新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。</p> <p>直ちに医師に連絡すること。</p> <p>医師に連絡すること。</p> <p>気分が悪い時は、医師に連絡すること。</p> <p>特別処置が必要。『4. 応急処置』を参照。</p> <p>口をすすぐこと。</p> <p>皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けること。</p> <p>汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。</p> <p>漏出物を回収すること。</p>
保管	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p> <p>施錠して保管すること。</p>
廃棄	<p>内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。</p>

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：	混合物
化学名：	エポキシ樹脂系プライマー
成分及び含有量：	

成分名	含有率 (%)	C A S No.	化審法
変性脂肪族ポリアミン等	100		既存
内：p-tert-ブチルフェノール	25	98-54-4	既存

4. 応急措置

目に入った場合：	・清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。
皮膚に付着した場合：	・付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。 ・かゆみ、炎症が出た場合は、ただちに医師の診断を受ける。
吸入した場合：	・空気の新鮮な場所に移し、安静保温に努め、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：	・多量の水、牛乳又は微温塩水を飲ませて吐かせた後、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法：	・火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して風上から消火する。 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。
消火剤：	水 []，二酸化炭素 [○]，泡 [○]，粉末 [○]，乾燥砂 [○] その他 ()
使ってはならない消火剤：	水

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置：	・保護眼鏡，保護手袋，防毒マスク等を着用して作業する。
環境に対する注意事項：	・漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立入りを禁止する。 ・付近の着火源を取り除き、消火器材を準備する。多量の場合には、流路を盛土などで囲って流出を防止する。

- 回収、中和：
 ・少量の場合は紙、布、砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。
 ・大量の場合、何よりも拡散の防止を図る。できるだけ液体を容器に回収する。回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。
 ・流出、その他の事故が発生した時は、警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
 ・火気厳禁。炎、火花、高温体との接触、その他点火源となる恐れのある機械等の使用を禁止する。
 ・取扱いは換気の良い場所で行ない、状況によって保護眼鏡、保護マスク、保護手袋を使用する。取扱い後は、手洗いを充分に行なう。
- 保管：
 ・容器を密閉し、冷暗所に保管する。
 ・その他、電気機器は防爆構造とする他、消防法などの法令に定める所に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

暴露濃度基準：

成分名	管理濃度
-----	------

設備対策：

蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。

保護具：

呼吸用保護具：有機ガス用防毒マスクを着用する。
 保護眼鏡：保護眼鏡を着用する。
 保護手袋：PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
 保護衣：長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観：	褐色液体
臭い：	アミン臭
pH：	データなし
凝固点：	データなし
融点：	データなし
初留点と沸点範囲：	データなし
引火点：	約126℃
蒸発速度：	データなし
引火または爆発範囲の上限/下限：	データなし
揮発性：	わずかにあり
蒸気圧：	データなし
蒸気密度：	データなし
密度：	データなし
溶解性：	水に難溶
オクタノール/水分配係数：	データなし
発火点：	データなし
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

- 安定性：通常のとおり条件では安定。
 危険有害反応可能性：通常のとおり条件では危険有害反応を起こさない。
 避けるべき条件：高温、火気、スパーク。
 混触危険物質：アルカリ、酸化剤
 危険有害な分解生成物：知見なし。

11. 有害性情報

- 刺激性（皮膚、眼）：
 ・皮膚をわずかに刺激する。繰り返し、長期間の接触は、皮膚炎を起こす可能性がある。また、繰り返し、長期間の接触、又は吸入は人によってアレルギー反応を引き起こす可能性がある。
 ・蒸気は呼吸器、眼に刺激性である。繰り返しの接触は結膜炎を起こす。

急性毒性：

成分名	LD50 (mg/kg)	生物種
-----	-----------------	-----

12. 環境影響情報

移動性： 製品として知見なし。
 廃棄： 漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び都道府県条例等に基づき焼却するか、許可を受けた処理業者に委託する。
 汚染容器・包装： 残余廃棄物と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

国連分類： 8 国連番号： 2735
 「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
 その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。
 容器に漏れのない事確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法： 危険物第四類第三石油類 危険等級Ⅲ
 毒物劇物取締法： 非該当
 労働安全衛生法： [表示対象物質] 非該当
 [通知対象物質] 非該当
 [特化側] 非該当
 [有機則] 非該当
 P R T R法： [第1種指定化学物質] p-tert-ブチルフェノール
 [第2種指定化学物質] 非該当

16. その他の情報

この安全データシートは、JIS Z 7253 (2012) に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献：

- ・ 14102の化学商品 化学工業日報社
- ・ 化学物質の危険、有害便覧 中央労働災害防止協会
- ・ 知っておきたい職場の化学物質 中央労働災害防止協会
- ・ GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成 中央労働災害防止協会
手法の研修テキスト（改訂版）
- ・ 製品安全データシートの作成指針 日本化学工業協会
- ・ エポキシ樹脂・硬化剤正しい取扱いの手引き エポキシ樹脂技術協会